



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成25年7月25日

上場会社名 株式会社 アドバンテス

上場取引所 東

コード番号 6857 URL <http://www.advantest.co.jp/investors/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 松野 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 管理本部長 (氏名) 中村 弘志

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	30,090	△9.8	△3,316	—	△2,845	—	△3,641	—
25年3月期第1四半期	33,355	24.2	756	△3.6	1,255	231.7	423	22.4

(注)四半期包括利益 26年3月期第1四半期 2,628百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △4,120百万円 (—%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△20.93	△20.93
25年3月期第1四半期	2.44	2.44

#### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	230,592	142,620	142,620	61.8
25年3月期	225,515	141,241	141,241	62.6

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	160,000	20.4	13,000	—	13,000	—	9,800	—	56.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第2四半期連結累計期間の業績予想は行っていません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

(注)詳細は、添付P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	199,566,770 株	25年3月期	199,566,770 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	25,371,716 株	25年3月期	25,773,688 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	173,948,323 株	25年3月期1Q	173,275,300 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用	P. 4
(2) 会計方針の変更	P. 4
3. 四半期連結財務諸表等	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
(3) 四半期連結包括利益計算書	P. 8
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報)	P. 10

〈添付資料〉

2013 年度第 1 四半期 決算（連結）の概要	P. 11
--------------------------	-------

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(2013年4月1日～2013年6月30日)の状況

(単位: 億円)

	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	前年同期比
受注高	462	395	△14.5%
売上高	334	301	△9.8%
営業利益	8	△33	—
税引前四半期純利益	13	△28	—
四半期純利益	4	△36	—

当第1四半期の世界経済は、全体として成長鈍化の気配を色濃くしながら推移しました。日本経済は、為替相場が円安となったことで、景気に持ち直し傾向がみられました。米国では雇用環境や住宅市場の改善の動きが持続したほか個人消費も底堅く、緩やかな景気回復の流れが続きました。一方、欧州各国では、債務問題や緊縮財政の影響下、厳しい状況が継続し、過去数年の世界経済の成長役を担ってきた新興国諸国においても、中国を中心に景気減速への懸念が強まりました。

半導体関連市場においては、2012年の年央以降、パソコン需要が軟化した影響下、先端投資を除けば設備投資は抑制傾向にありました。しかし拡大が続くモバイル機器市場に牽引され、今春から徐々に半導体メーカー各社の設備投資は積極的なものへと転じました。これまで特に投資抑制傾向が強かったDRAM半導体で新規設備投資が進んだほか、DRAM以外の半導体についても、今後のモバイル機器増産への備えとして設備発注が相次ぎ再開されました。

このように事業環境が好転する中、当社は、大型案件受注の影響があった前年同期の水準には届かなかったものの、受注高を前四半期比で伸ばしました。前期末の受注残が低水準だったことから、当期の売上高も低い水準に留まりましたが、第2四半期以降は売上高の伸長が期待されます。売上高が低水準だったことと、期初の前提を上回る円安進行に伴う外貨建てコストの増加を受け、利益面は厳しい結果となりました。

以上により、受注高 395 億円(前年同期比 14.5%減)、売上高 301 億円(同 9.8%減)、営業損失 33 億円、税引前四半期純損失 28 億円、四半期純損失 36 億円となりました。海外売上比率は 91.1%(前年同期 91.4%)です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

&lt;半導体・部品テストシステム事業部門&gt;

(単位: 億円)

	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	前年同期比
受注高	376	282	△25.1%
売上高	259	210	△18.8%
営業利益	33	△13	—

当部門では、モバイル機器向けの半導体の生産能力を拡充する動きが再び強まったことで、非メモリ半導体用テストシステムへの引合いが、通信用半導体向けを中心に活発でした。また、昨年度厳しい投資抑制下に置かれたメモリ半導体用テストシステムについても、モバイル機器向けのDRAM半導体の供給拡大がデバイスの高速化と並行して進んだことで、需要が回復しました。しかし、前期末の受注残が低水準だったことで、売上高および利益面は低調でした。

以上により、当部門の受注高は 282 億円(前年同期比 25.1%減)、売上高は 210 億円(同 18.8%減)、営業損失は 13 億円となりました。

## &lt;メカトロニクス関連事業部門&gt;

(単位: 億円)

	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	前年同期比
受注高	42	47	12.3%
売上高	33	35	5.3%
営業利益	△11	△14	—

当部門では、事業連動性の高いメモリ半導体用テストシステムの需要回復に伴い、受注高、売上高がともに伸びましたが、利益面では厳しい結果が継続しました。

以上により、当部門の受注高は47億円(前年同期比12.3%増)、売上高は35億円(同5.3%増)、営業損失は14億円となりました。

## &lt;サービス他部門&gt;

(単位: 億円)

	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	前年同期比
受注高	47	67	42.0%
売上高	46	56	22.5%
営業利益	0	4	14.4倍

当部門では、当社製テストシステムの設置台数の伸びに下支えされる形で、顧客からの保守需要が増加しました。

以上により、当部門の受注高は67億円(前年同期比42.0%増)、売上高は56億円(同22.5%増)、営業利益は4億円(同14.4倍)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は、前年度末比51億円増加し、2,306億円となりました。この主な要因は、のれん、現金および現金同等物がそれぞれ32億円、16億円増加したことなどによります。負債合計は主に買掛金が21億円増加したことなどにより、前年度末比37億円増加し、880億円となりました。また、株主資本は1,426億円となり、株主資本比率は前年度末比0.8ポイント減少し、61.8%となりました。

## (キャッシュ・フロー計算書)

当第1四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より16億円増加し、473億円となりました。当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純損失36億円を計上しましたが、売上債権の減少(22億円)および買掛金の増加(17億円)に、減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、28億円の収入(前年同期は、19億円の支出)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、20億円の支出(前年同期は、33億円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の購入(△14億円)および子会社買収による支出(△12億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、11億円の支出(前年同期は、16億円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払(△16億円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

スマートフォンやタブレット型端末の世界的な普及によって、モバイル機器の販売台数の順調な伸びが続くと見込まれる中、有力半導体メーカー各社では先端的半導体の増産に向けた設備投資への意欲が再び高まりつつあります。この流れを受けて、当社のテストシステムへの需要も堅調な推移が期待されます。通期の連結業績予想につきましては、2013年4月に開示した売上高1,600億円、営業利益130億円、当期純利益98億円から変更ありません。予想の前提とした為替レートは、米ドルが1ドル90円、ユーロが1ユーロ120円です。

なお当社グループは、2013年6月、モバイル機器のテスト用ソフトウェアの開発、販売を行う米国 W2BI.COM, INCの買収手続きを完了し、同社を当社米国子会社の完全子会社としました。今後、当社がこれまで構築してきたグローバルな営業・サポート体制を活用し、成長著しいモバイル機器向けテスト市場における収益の最大化に努めます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更

2012年7月に、米国財務会計基準審議会は、非償却性無形資産の減損テストに関する基準を改訂しました。当該基準では、企業が実施する非償却性無形資産の減損テストにおいて、非償却性無形資産の公正価値を算定する前に、定性的要因を評価することが認められ、企業は非償却性無形資産の公正価値が帳簿価額を下回るという確率が50%超であると判断した場合を除き、非償却性無形資産の公正価値を算定する必要はありません。当社および当社の連結子会社（以下、アドバンテスト）は、2013年4月1日より開始する第1四半期から当該基準を適用しました。当該基準の適用による経営成績および財政状態への重要な影響はありません。

2013年2月に、米国財務会計基準審議会は、その他の包括利益累計額からの組替調整額の表示に対する修正の基準を改訂しました。当該基準では、その他の包括利益累計額からの組替調整額をその構成要素ごとに開示することを要求しております。アドバンテストは、2013年4月1日に開始する第1四半期から当該基準を適用しました。当該基準の適用による経営成績および財政状態への重要な影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表等

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
資産の部		
現金および現金同等物	45,668	47,252
売上債権（貸倒引当金控除後）	26,953	25,351
棚卸資産	31,849	32,724
その他の流動資産	8,319	8,608
流動資産合計	112,789	113,935
投資有価証券	5,923	6,161
有形固定資産（純額）	41,368	41,278
無形資産（純額）	15,833	16,108
のれん	41,670	44,894
その他の資産	7,932	8,216
資産合計	225,515	230,592

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
<b>負債の部</b>		
買掛金	10,380	12,526
未払費用	7,910	7,964
未払法人税等	1,436	1,855
製品保証引当金	1,889	1,927
前受金	3,198	2,989
その他の流動負債	3,087	3,684
流動負債合計	27,900	30,945
社債	25,000	25,000
未払退職および年金費用	26,785	27,221
その他の固定負債	4,589	4,806
負債合計	84,274	87,972
契約債務および偶発債務		
<b>資本の部</b>		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	42,801	42,624
利益剰余金	170,626	164,390
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 6,929	△ 660
自己株式	△ 97,620	△ 96,097
資本合計	141,241	142,620
負債および資本合計	225,515	230,592



## (2) 四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年6月30日)
売上高	33,355	30,090
売上原価	15,797	14,798
売上総利益	17,558	15,292
研究開発費	8,054	8,720
販売費および一般管理費	8,748	9,888
営業利益 (△損失)	756	△ 3,316
その他収益 (△その他費用)		
受取利息および受取配当金	68	76
支払利息	△ 30	△ 34
投資有価証券売却益	—	492
その他	461	△ 63
その他収益 (△その他費用) 合計	499	471
税引前四半期純利益 (△損失)	1,255	△ 2,845
法人税等	853	798
持分法投資利益	21	2
四半期純利益 (△損失)	423	△ 3,641

(単位：円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年6月30日)
1株当たり四半期純利益 (△損失)		
基本的	2.44	△20.93
希薄化後	2.44	△20.93

(3) 四半期連結包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年6月30日)
四半期純利益 (△損失)	423	△ 3,641
その他の包括利益 (△損失) (税効果調整後)		
為替換算調整勘定	△ 4,236	5,966
純未実現有価証券評価損益		
当期発生純未実現損益	△ 591	502
控除 純実現損益の再分類調整	—	△ 318
純未実現損益	△ 591	184
年金債務調整	284	119
その他の包括利益 (△損失) 合計	△ 4,543	6,269
四半期包括利益 (△損失)	△ 4,120	2,628

## (4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月 1日 至 2013年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益(△損失)	423	△ 3,641
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費	1,892	2,321
繰延法人税等	△ 9	252
売上債権の増減(△増加)	△ 994	2,204
棚卸資産の増減 (△増加)	△ 3,794	△ 378
買掛金の増減(△減少)	3,543	1,734
未払費用の増減 (△減少)	△ 3,315	△ 69
未払法人税等の増減 (△減少)	643	354
製品保証引当金の増減 (△減少)	△ 49	16
前受金の増減 (△減少)	45	△ 349
未払退職および年金費用の増減 (△減少)	35	292
その他	△ 290	30
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 1,870	2,766
投資活動によるキャッシュ・フロー		
売却可能有価証券の売却による収入	—	669
子会社買収額 (取得現金控除後)	—	△ 1,168
有形固定資産の売却による収入	22	179
有形固定資産の購入額	△ 3,129	△ 1,415
無形資産の購入額	△ 98	△ 225
その他	△ 45	△ 9
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 3,250	△ 1,969
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増加 (△減少)	△ 25,000	—
社債発行による調達	25,000	—
配当金の支払額	△ 1,577	△ 1,591
その他	8	483
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 1,569	△ 1,108
現金および現金同等物に係る換算差額	△ 1,535	1,895
現金および現金同等物の純増減額 (△減少)	△ 8,224	1,584
現金および現金同等物の期首残高	58,218	45,668
現金および現金同等物の四半期末残高	49,994	47,252

## (5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

単位：百万円

	前第1四半期連結累計期間				合計
	(自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)				
	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	
外部顧客に対する売上高	25,521	3,239	4,595	-	33,355
セグメント間の内部売上高	361	106	-	△ 467	-
売上高	25,882	3,345	4,595	△ 467	33,355
調整前営業利益 (△損失)	3,345	△ 1,147	26	△ 1,468	756
(調整) ストック・オプション費用					-
営業利益 (△損失)					756

単位：百万円

	当第1四半期連結累計期間				合計
	(自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)				
	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	
外部顧客に対する売上高	20,939	3,522	5,629	-	30,090
セグメント間の内部売上高	75	-	-	△ 75	-
売上高	21,014	3,522	5,629	△ 75	30,090
調整前営業利益 (△損失)	△ 1,260	△ 1,365	381	△ 1,072	△ 3,316
(調整) ストック・オプション費用					-
営業利益 (△損失)					△ 3,316

(注) 1. 全社に含まれる営業利益 (△損失) への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2. アドバンテストは、ストック・オプション費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

## 2013年度第1四半期 決算(連結)の概要

### 1. 受注・受注残

(単位:億円)

	2012年度実績				2013年度実績			2013年度業績予想	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比	前期比	通期	前年度比
受注高	462	253	244	298	395	Δ14.5%	32.1%	(1,650) 1,650	31.2%
受注残	364	225	223	164	258	Δ29.1%	57.0%	(214) 214	30.4%

(注)2013年度業績予想欄の上段は、2013年4月25日発表時の予想であります。現時点の予想も変更ありません。

### 2. 損益

(単位:億円)

	2012年度実績				2013年度実績			2013年度業績予想	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比	前期比	通期	前年度比
売上高	334	392	246	357	301	Δ9.8%	Δ15.8%	(1,600) 1,600	20.4%
売上原価	158	187	116	179	148	Δ6.3%	Δ17.5%	-	-
研究開発費	81	86	75	89	87	8.3%	Δ1.6%	-	-
販売費および一般管理費	87	93	81	96	99	13.0%	2.3%	-	-
営業利益 (売上高比率)	8 (2.3%)	26 (6.7%)	Δ26 (Δ10.3%)	Δ7 (Δ2.1%)	Δ33 (Δ11.0%)	-	-	(130) 130	163.4倍 (8.1%)
営業外損益	5	Δ8	Δ4	Δ7	5	Δ5.7%	-	-	-
税引前当期純利益 (売上高比率)	13 (3.8%)	18 (4.7%)	Δ30 (Δ12.2%)	Δ14 (Δ3.9%)	Δ28 (Δ9.5%)	-	-	(130) 130	- (8.1%)
法人税等	9	7	4	5	8	Δ4.4%	57.9%	-	-
当期純利益 (売上高比率)	4 (1.3%)	11 (2.8%)	Δ34 (Δ13.9%)	Δ19 (Δ5.3%)	Δ36 (Δ12.1%)	-	-	(98) 98	- (6.1%)

(注)2013年度業績予想欄の上段は、2013年4月25日発表時の予想であります。現時点の予想も変更ありません。

### 3. 財政状態

(単位:億円)

	2012年度実績				2013年度実績	
	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末	1Q末	前期比
総資産	2,131	2,116	2,161	2,255	2,306	2.3%
株主資本	1,257	1,258	1,344	1,412	1,426	1.0%
株主資本比率	59.0%	59.5%	62.2%	62.6%	61.8%	-

### 4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2012年度			2013年度予想		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末	年間
1株当たり配当金	10.00	10.00	20.00	10.00	10.00	20.00